

星屑

VOL. 251

February '96



熊本県民天文台

星屑

VOL. 251
February' 96

ここに写真を貼って下さい

写真データ 96年1月3日

新年会 山本屋にて

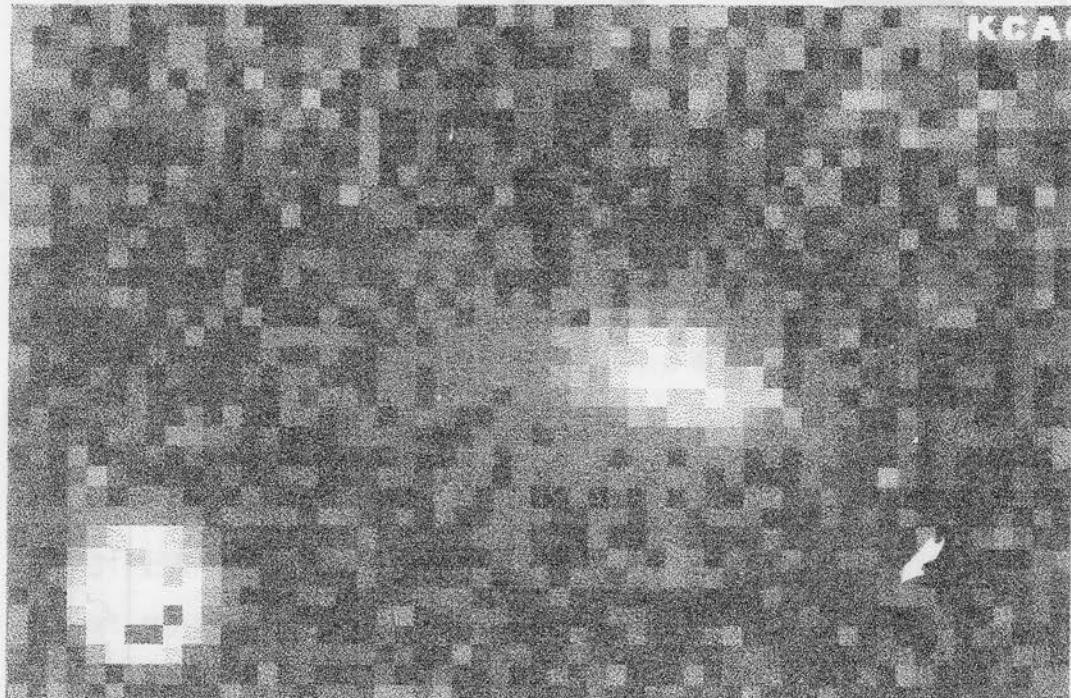
熊本県民天文台

CCD REPORT

COMET PAGE

Porco Nisse

今年は、元旦から 5 日まで連日晴れるという希にみる好天に恵まれたお正月でした。おかげでお屠蘇も飲みなしで観測の日々でした。今後もこの好調な滑り出しの好天気が続くことを期待したいものです。だって、世紀の大彗星がいよいよ近づいて来るんだからね。



☆ 73P/Schwassmann-Wachmann 3

連日追いかけていたのは、この星です。9月に大バーストを起こした後の変化に注目してずっと監視を続けていた星です。12月になって、核が細長くなっているのに気づき「もしかしたら」と思っていたら、ESOの3.6mの観測から分裂していると報じられました。上の画像は、1月3日の夕方の画像から核付近を拡大したもので、左下の恒星像と較べると真円でないのがお分かりになるでしょう。太陽はこの図の右側にあります。そして、右図を見るように南西方向に、いわゆるアンチ・テイルが30分角以上に伸びて

います。既にこの星の活動は衰えていて、本当の尾は東に短く見えているにすぎません。



今回の大バーストの原因がだんだん分かってきましたが、さてこの星はこの後どんな変化を見せるのでしょうか？

☆ 45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova

この星は、12月25日に近日点を通過した後も地球に急速に接近するため増光を続けています。南西の空に低くなつて非常に観測は困難ですが、お正月の幸い良い透明度に恵まれて追跡できました。掲載した画像は、1月3日に撮った2枚ですが、短時間の間に尾の変化が認められます。この頃の光度は6等級の後半でした。



45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova
03-01-1996 41L exp.30sec

KCAO



45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova
03-01-1996 41L exp.30sec.

KCAO

この星は、1月になって逆行になって急速に太陽に近づきますが、下旬には南東の空に再び見え始め、2月には地球上に0.17天文単位まで接近します。

新彗星 C/1995 Y1 (Hyakutake)

鹿児島県隼人町の百武氏は、12月26日早朝海蛇座に10.5等級の新彗星を発見しました。確認依頼は26日夕刻にありました。動きが不明とのことでした。27日も運良く快晴でしたがKCAOの狭いCCDの視野には入りませんでした。発見位置の周囲30分、1度四方を調べたところで時間切れでした。彗星はこの外側にいたのでした。結局、

初観測は動きの分かった28日早朝になりました。

1月3日までの観測からほぼ正確な軌道が求められました。ごく普通の順行の彗星です。ここ数月明け方の空で観測できるでしょう。



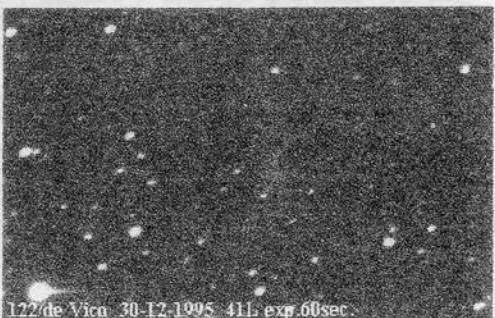
KCAO

なお、百武氏は九州では西川氏、宇都宮氏に続く3人目の新彗星発見者になります。

☆ 122P/de Vico

発見後しばらく細く長いイオンの尾を見せてくれた星です。11月から12月にかけて夕空に見えていましたが、再び明け方の空に見えるようになりました。でもその姿は、哀れなものでした。

活動は既に衰えて、コマはほとんどないのに、尾だけは幅広く見えるという変わった姿です。これは、丁度彗星の軌道面を通過したばかりで、軌道面上に広がったダストが見えているのでしょうか。



122P/de Vico 30-12-1995 41L exp.60sec.

この星の次の回帰は75年後、もう見ることはできません。

では本年も本ページをよろしく！！

連続？天文台小説

シリウスよりも輝いて

第一話 出会い なかむらひろあき

熊本理学部2年の沢木信夫は、天文研究会というサークルに所属している。星空を眺めるということが好きだという理由で何気なく入部したのであるが、ここ数ヶ月は「寒いから」といって観測にもいかず、部の定例会にも休みがちであった。

ところが12月にはいると彼は部によく顔を出しては、「今日は星見に行かないんですか?」と尋ねることが多くなった。周りの上級生は、彼のこうした変化を、既に冷え切っていると思われた天文に対する興味が再びわいてきたものとしてとらえ、喜ばしく思っていた。だが、その解釈は誤りであり、本当の理由を知る者は2年の岩永正幸だけだった。

11月のある土曜日の夜、沢木は岩永と4年の磯田とともに天文台にきていた。特に星を見たかったというわけではなかったのだが、天文研究会の写真展が間近に迫っていたため、何でもいいから写真を撮れと、半ば強引に連れてこられたようなものであった。天文台は、7時から10時までは一般の人に解放されており、運営員が天体望遠鏡の操作と解説を行う。磯田と岩永は運営員なので10時までは客の対応をせねばならない。その間、沢木は何もする事が無く、彼らが忙しく働いている側で、ぼーっと星空を眺めていた。

空は雲一つなく、月も出ておらず、無数の星々が輝いている。彼は、久しく星を眺めることがなかったので、心にしみいるような星空の美しさを、今更ながら実感していた。だがものの数分も立たない内に、十分に服を着込んでこなかった彼は、寒さに耐えきれなくなった。彼の感動も寒さにはとても勝てずに、どこかへ飛んでしまったようだ。沢木は、コタツに入ってテレビでも見ようかと思い、そそくさと階段を下りていった。そして一階の休憩室に入ろうとした時、玄関の扉が開き、一人の女性客が入ってきた。

「こんばんは、星を見せていただきたいんですけど。」 沢木と目が合うと、彼を天文台の人間と思ったのか、そう尋ねている。沢木は突然の客の来訪と、彼女の美しくさわやかな笑顔に多少の戸惑いを感じていた。じっと見入ってしまいそうな魅力的な笑顔である

「あ、ええ、どうぞ上がって下さい。」 彼はその戸惑いを隠すようにさっと視線をそらし、先に立って彼女を二階に案内した。観測室に入ると、彼女は磯田や岩永に様々な天体を望遠鏡で見せてもらい、彼らの解説を熱心に聞いている。沢木は彼女を案内したもの、天文に関しては全くの無知であるため、後は何もする事がなく、相変わらず星を眺めているだけだった。

しかし、ついさっきまでとは異なり、沢木は抑えきれない胸の高鳴りを感じていた。「この感情は……これが、恋というものなのかな？」沢木はこれまで初対面の女性にいきなり激しい恋愛感情を抱いたことはなかった。彼は‘運命の赤い糸’などというものは恋愛小説のたぐいにしか出てこない非科学的な事と思い込んでいた。だが、今、まさにその運命を感じずにはいられなかつた……。

沢木の熱い思いをよそに、彼女はすっかり岩永や磯田と打ち解けてしまったようで、話が盛り上がっている。「地元のS保育園に勤めているんですよ。」「保母さんですか？」磯田が尋ねる。「ええ、いつか子供達にも綺麗な星空を見てもらおうと思って、今日は私一人でここへ下見に来たんです。」「じゃあ今度は子供達を連れて？」「そうね、いつかは」「ここにもぎやかになりそうですなあ」岩永が苦笑混じりに応じる。そう皮肉を言つては見るものの、彼は、ここにはよく小学生が訪れるので、子供の扱いには慣れているし子供好きでもあった。

沢木は、話の輪に入ることもできず、星をじっと見つめながら彼女の声を聞いている。しばらくすると、磯田が「沢木、俺アイピースとってくるから岩永を手伝つとい」と言って階下に下りていった。岩永は踏み台に上がってファインダーをのぞき込み、別の天体を入れようとしている。今、彼女のそばには沢木しかいなかつた。収まりかけていた胸の鼓動がまた速まり、頬が紅潮していくのがよく分かる。

「私、シリウスが好きなんです。」彼女は沢木の方に向かって言う。沢木は突然の事に気の利いた言葉も出ず、「僕も、シリウス好きです。」と答えるのが精一杯であった。
「でも、シリウスって望遠鏡で見ても、ただの点ですよ。」上から岩永の声がする。「……そうかもしれませんけど、私にとっては大切な星なんです。特に寒い冬の空に見ると一生懸命輝いてるみたいで、何か勇気づけられるんです。」「心の、灯火のようなものですか？」「そう、心の灯火のようなもの……」

彼女が帰った後、沢木は観覧者の記入する名簿に視線を落とした。「白石めぐみ、24才、か……」彼はつぶやいた。その時、岩永が後ろから近寄ってきて言った。「沢木おまえ、シリウス好きだったっけ？」「たった今好きになったところさ。」岩永は彼の気持ちを感じ取ったらしく「たった今、ねえ……」と揶揄するような口調で言った。

二人の物語は、この夜、シリウスの輝きの下で始まった……

☆ インターネット接続奮闘記 ☆

えー、最近インターネットなるものが騒がれておりますが、（天文台でもホームページなるものを作って、情報を発信しておりますが・・・）どうすれば出来るのか？TV等では簡単に紹介されていますが、実際自分でやるとなると、これはなかなか難しい。じゃじゃーん、そのインターネットにやっとこさ参加出来る状態になりました。何が大変だったかというと、全部です。ハイ

まず、ウインドウズ95からのインストール。みんなの話じゃ「絶対一回ではうまくいかない！！」と言われていたので、ピクピクしながらインストール。

??はあったものの、無事終了。と、これだけでは出来ない。インターネットプロバイダー、という所へ契約をしにトコトコ。これも無事契約OK。さて、出来るかなと思いきや、インターネットに入る為のソフトが無い。今までのパソコンはすべて、ドス(DOS)で行っていたため、はた、これは困った・・・。

と、その時天の声「95プラスば買いなっせ」。ううう、またインストール。何とか環境は整ったものの、ややこしいのはここからである。IDやパスワードなどはどこのパソコン通信でもおんなじ。でも、ドメイン名(DNS)やIPアドレス・・・な、なんじゃこりゃ。わからん。と、とりあえず電話・・・。

え、メールアドレス??、設定しないとメールのやり取りが出来ない????
はあ、こりやわからん。えー、「Internet Explorer ではメールのやり取りがややこしいから Netscape V2 に替えなっせ」のアドバイス。さらに Netscape のインストール。どうです、何の話か解ります？やってる私でもよく解りません。

解決策として、インターネットに入っている人に直接聞きましょう。自分で頑張っても大変みたい（私はそうでした）ですよ。解ってる人は良いんです。解つてれば、私は解らなかつたんですよ。なんせ全部英語っていうのも・・・。

日本語もあるにはあるけど、なんで要所要所が・・・。

えー、インターネットでやっとこさ、メールのやり取りが出来るようになりましたのでメールアドレスの公開を（解ってる人も）しておきます。

私こと中尾です。tommy@interserve.or.jp

台長 鮎島氏 tuyasima@kmt-technopolis.or.jp

副台長 中島氏 kcaohige@interserve.or.jp

誰かメール下さいな。返事はそのうち出しますよ。でも、私の契約している会社、回線が込み合っていてなかなかつながらないんです。トホホ。

～'95年12月天文台運営日誌より～

・開台率: 7/12 = 58.3 (%)

・来台者数: 43人(お客様) + 4人(KKT取材陣) = 47人

日付	天気	来客数	運営	記事〔会員利用者〕(日誌記入者)
3(日)	曇	0人	艶島	夕方は晴れていたのに運営時間にはドン曇りになってしまった。 [天文研究会](艶島)
7(金)	晴	2人	中尾、長谷 西嶋	M42、M45、アルビレオ、土星、月 (長谷)
9(土)	晴	11人	中島、松野 清田、岩永	M42、M45、h-χ、土星、アルビレオ、アンドロメダ (岩永)
10(日)	晴	2人	艶島、薮田 (+4人)	土星、M42、アルビレオ、他 光害についての取材(KKT:サーチライトについて他) 彗星観測 [小林]、中島](艶島) 国立天文台のPAONETによる画像配信が始まりました 褐色矮星と原始惑星系の画像を持ってきてあります♪ (艶島)
17(日)	晴	13人	艶島、中島 甲斐、薮田 徳尾	土星、すばる、M42、カペラ、γ-And、β-Cyg(アルビレ オ)、M57 大家族でいらっしゃいました。人数が多いと賑やかでいい です。 (薮田)
22(金)	晴	0人	長谷、小林	サーチライトが1つ増えた。(大きい!) (長谷)
23(土)	晴	15人	中島、松野	M1、M42、M78、ベテルギウス、リゲル、金星、土星 M(メシエ)天体をなかなか探し難かった。 (松野)
24(日)	晴	0人	艶島、甲斐 薮田	今日はとても寒かった。アベックも来ない。 今日で'95年の運営最終日。 運営委員の皆さん、応援してくれた皆さん、一年間お疲れ さまでした。また来年頑張りましょう。 (艶島)

・運営日以外開台日: 5日

日付	天気	記事〔利用者〕(記入者)
1(金)	晴	運営時間が過ぎてから晴れる。朝5:30頃まで撮影。[天文研究会10名] 彗星観測[小林] (薮田)
2(土)	曇	午前中: ドーム工事の立ち会い(手直しあり) [艶島] ドーム室、工事確認。パソコン設定etc. [中島、艶島] 暗室使用。写真の焼き付けを行う。[天文研究会5名ほど] (岩永)
3(日)	曇	暗室使用。写真の焼き付けを行う。[天文研究会] (岩永)
4(月)	曇	来て、見て、なすことなく帰る。[薮田、井出、野田] (薮田)
5(火)	曇のち晴	白黒、月面撮影(虹の入り江付近、“エンディミオン”付近、等) [薮田、井出、野田] (薮田)
9(土)		忘年会〔約20名〕

どーも、毎日寒いですねえ。バイク乗りには辛い季節ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は年末に風邪ひきました、本当に寝正月でした。でも、しっかり天文台で年越しあせていただきました。（今年は灯籠様とフェンス様には迷惑かけませんでしたよ。）まだ少しグスグスしてますが、人にうつすと風邪はよくなるという話ですので、人にうつして回ろうか！！と考えております。正月早々傍迷惑な奴で御座います。はっはっは。

☆ 2月の天文現象＆行事 ☆

- 3日 節分
- 5日 満月（00:58）
- 10日 ※トークアバウト（20:00～）
- 12日 土星の環が消失（9時） 下弦（17:37）
水星が西方最大離角（05:23 25°54'7.0等）
- 17日 月の距離が最近（360890Km）
- 19日 新月（08:30）
- 26日 上弦（14:52）
- 29日 月の距離が最遠（405276Km）

※前回からトークアバウトの開催曜日が変更になっております。毎月第二土曜日になります。お勤めの方も参加しやすくなると思いますので、是非お越し下さい。

※※事務局が博物館から天文台へ変更になっております。郵便物等は天文台か各担当者へ送って頂けるよう宜しくお願ひ致します。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1996年2月号 通巻251号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作